

議案第 1 号

平成 30 年度東谷小学校区コミュニティ推進協議会事業報告について

平成 30 年度東谷小学校区コミュニティ推進協議会事業について次の通り報告します。

1. 総括

本年度は長雨、台風と荒れた天候のスタートとなり、最初に行う事業である「東谷市民納涼祭」が台風のため中止となりました。楽しみにしている子どもたちのことを考えると、なんとか開催できないかと実行委員長を先頭に知恵を絞りましたが、台風直撃の予報を受け地域住民の安全第一を考え、断腸の思いで中止といたしました。

次に本年度の“チャレンジ事業”として実行した「東谷市民体育祭・70周年記念大会」は、ケーブルテレビ“J・COM”の取材もあり東谷住民あげての事業として大変盛り上がりました。

又、「東谷市民秋まつり」も好天に恵まれ、大盛況のうちに終える事ができました。

今年は大雨によって市より避難指示が発令され、東谷でも避難された方がいました。コミュニティ、民生委員、自治会が安否確認を行いました。災害に備え「向こう3軒両隣り、相互の助け合い」をこの経験をもとにさらに体制を整え、もっと充実させる必要があると感じました。

又、予てから長年にわたり要望しておりました「仮称 東谷運動広場」の建設に向けての予算確保が決定し、大きく前進しました。

2. 重点取り組みの状況

(1) 東谷市民体育祭を70周年記念事業とし、チャレンジ事業として取り組む

10月7日(火)東谷小学校グラウンドにおいて、70周年記念大会として盛大に実施された。チャレンジ事業として、国道173号線を東西に2分した自治会対抗の大綱引きをも実施。真剣勝負の大盛り上がりを見ました。

(2) 東谷市民秋まつり(収穫祭・文化まつり・植木まつり)の実施。

11月25日(日)に実施。従来の経験・体制に加えて、文化推進部会の新設に伴い、文化まつりの企画運営体制を強化し、東谷市民文化を誇れる東谷市民秋まつりの基礎が出来た。実行に当たっては、JAはじめ関係各種の団体・コミュニティ内部部会の大きい協力も成功の力となった。

(3) 東谷共育クラブ事業の取り組み

今年度から、体制等を強化し青少年育成推進部会の所管となり、さらなる活性化を目指した。事業がスタートして6年間が経過したが、新体制の定着も見て、更なる定着・発展が期待される。

(4) 北部地域市立川西病院移転対策委員会の継続（2021年度迄）

平成29年7月に第1回対策委員会を開催。その後、牧の台・北陵地域を加えて現在の構成に至る。今年度は、3回の委員会開催及び市当局の計画に対して提言書を提出。

北部診療所及び医療・福祉ゾーン全体の今後について、さらに要望、提言等を行う必要がある。

3. その他の主な取り組み状況

(1) 災害に備え、「向う3軒両隣り相互の親睦・助け合い」体制の普及

「自治会加入促進事業」を、まちづくり推進部会を中心に行った。

各自治会での独自のやり方・進め方で行い、事業としては各自治会において地区住民の方々に理解が得られ始めたと思われるが、実効が現れるには今少しの時間がかかるようだ。

今後、地区住民との弛まぬコミュニケーションが鍵と言える。

(2) 東谷運動広場の確保に向けた要望活動の継続

「仮称 東谷運動広場」の建設に向けての予算確保が、市当局により決定された。

長年の要望事項であったが、望みが叶い、早い時期での工事着工が見込まれる事となった。

4. 活動概要

- ① 平成30年度活動内容のまとめ及び総会の開催
- ② コミュニティ役員会、企画運営委員会の開催（毎月1回開催）
- ③ 各自治会、各推進部会、各実行委員会の開催（随時）
- ④ 各推進部会が担当する事項に関する活動
- ⑤ 各実行委員会が担当する事項に関する活動
- ⑥ 3大イベントの実施・開催
 - 1) 東谷市民納涼祭
平成30年 7月28日（土） 降雨の為、残念ながら中止した。
 - 2) 東谷市民体育祭 70周年記念大会
平成30年10月 7日（日） チャレンジ事業としての取り組み
 - 3) 東谷市民秋まつり（収穫祭、文化まつり、植木まつり）
平成30年11月25日（日） 東谷公民館、川西市と共催
- ⑦ 関連行政機関と連携協働（随時）

川西市コミュニティ連合会、市総合政策部、参画協働課、危機管理課、教育委員会、川西警察署、等
- ⑧ 各種団体との連携

- J A兵庫六甲、市スポーツ団体、川西防犯協会、北陵・牧の台地区コミュニティ
- ⑨ 地域課題解決の為の情報収集及び要望活動
青少年育成市民会議、東谷幼稚園、東谷小学校、東谷中学校、川西北陵高等学校等
 - ⑩ 東谷コミュニティ協議会の目的を達成するために必要な活動